

令和 8 年度 道徳教育 全体計画

学校番号	3	飯山 高等学校	全 課程	普通 探究 スポーツ科学 科
------	---	---------	------	----------------

学校教育目標
1 高い知性と豊かな心、健やかな体を育み、自ら考え探究する力を養う 2 個性や能力を伸ばし、自主・自立の精神と敬愛・協同の精神を培う 3 社会の一員としての自覚を高め、進んで社会に貢献する人物を育てる 4 国際社会を深く理解し、平和を希求する人物を育てる
重点目標
① 互いの存在を認め合う人間関係を構築するため、様々な場を通じて人権意識の啓発と尊重に取り組む。 ② 学校全体で「探究的な学び」に取り組むとともに、将来展望をふまえた多様な学びや学校のあり方を検討する。 ③ 「主体的・対話的で深い学び」の推進と進路実現に向け、授業改善と生徒自らが考える力の育成を図る。 ④ 学校と家庭、地域との連携及び協力のもとに教育活動を進めるとともに、情報発信の充実を図る。

道徳教育の重点目標
1 本校生としての自覚を持ち、善悪、正邪の判断能力を高め、規範意識を涵養する。 2 自己と他者の違いを理解し、互いを認め合うことができる姿勢を養い、敬愛・協同の精神を培う。 3 学校生活を通じ、自身のあり方生き方について考え、社会に主体的に参画する姿勢の育成を図る。 4 国際的視野を養成し平和を希求する人物を育てることを念頭に置き、特にいじめに対しては絶対に許さないという姿勢を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	学校内外での諸活動を通して多様な個性を認め、社会の一員としてよりよく生きていくための基本的な態度を養う。	高校卒業後の進路についての意識高揚のため、発達段階に応じたキャリア教育を行う。 ○キャリアガイダンス ○インターンシップ ○ソーシャル・スキル・トレーニング	仲間との活動および講演会などを通じて、互いの個性を尊重し認め合う態度を育てる。 ○SNSの正しい利用 法について ○人権学習	クラス、学年を飛び越えた良好な人間関係を築き、共に協力しながら一つのことを成し遂げる経験を積む。 ○部活動 ○生徒会活動 ○文化祭	国語 言葉による考え方、見方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。	地理歴史 全地球的な歴史・地理の学習を通して、現代・日本の社会のあり方や、同じ過ちを繰り返さない道徳性を養う。
	学校生活の諸場面で、主体的に行動する態度を身につけるとともに、互いの存在を認め合い、よりよい社会の構成者となるよう、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、主体的に学ぶことができる。 ○進路探究 ○課題研究 ○各種職業体験活動 ○進路別科目選択	校内における諸活動の中心となっていく自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○文化祭 ○平和学習	主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営	公民 日本・世界の政治・経済・倫理の学習を通して、日本の社会のあり方や、社会性を養う。	数学 数字の活動を通して数字的な能力・考え方を働かせ、知的好奇心や豊かな感性を育み、粘り強く考える態度と、様々な事象に対し自ら正しくみきわめる力と理性的な判断力を養う。
2年	進路を考える中で主体的に社会に関心をもち、基本的な人権を尊重し平和で差別・偏見のない民主社会の形成者として、道徳実践意欲と態度を涵養する。	具体的な職業をイメージし、人々の働き方を通して人権の価値をあらためて認識し、社会での偏見や格差を自分のこととして捉え、解決策を考えることができる。 ○進路研究 ○インターンシップ	主権者としての自覚を持ち、クラス・学校や地域社会の諸課題を友人と協働しながら解決し、高い道徳力を育成する。 ○高校卒業後のあり方について ○人権学習	同じ年代の生徒たちと生徒会活動・課題研究発表会・部活動等で触れ合う中で、一人一人の個性を尊重し、自らよりよい社会の実現に向けた行動をとれるようにする。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営	理科 身の回りや自然界の事物・現象を探究する活動を通して、生命倫理・研究倫理を理解させ、道徳的判断力を育成する。	保健体育 保健や体育の授業を通して、他者との関わりの中で仲間を認め思いやりを持ちながら、ルールに則った安全で公正な態度を育てる。
	進路に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	情報に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	芸術における感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	外国語 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	家庭 他者と協働しながら学ぶ実習などを通して、個人を尊重する心を育てよりよい生き方を追求し、主体的に行動する態度を育てる。
3年	進路に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	進路に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	進路に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	進路に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	情報 情報に関する見方・考え方を養うとともに、情報社会で果たしている役割や影響を理解させ、適切な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。	総合的な探究の時間 学校設定教科「探究」「SSH」でのグループワークや探究活動を通して、他者理解、自己理解を深め、自己肯定感を高める。

家庭・地域との連携	・家庭と連携し、日常生活、学校生活両面より、生徒が自己および他者に対し理解を深めるとともに、尊重できる姿勢を涵養し、よりよい社会の構成者としての自覚を促す。 ・地域に開かれた学校となるよう、校内の諸活動における情報を公開し、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。
------------------	---